

科目	古典探究	学年	第2学年	開講	通年	必修	2単位
----	------	----	------	----	----	----	-----

教科書:精選 古典探究 古文編(明治書院)精選 古典探究 漢文編(明治書院)
 副教材:精選 古典探究 古文編学習課題ノート(明治書院) 精選 古典探究 漢文編学習課題ノート(明治書院)
 新精選 古典文法(東京書籍) 漢文必携(桐原書店) 重要古文単語315(桐原書店)

1 学習の到達目標

- A.生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、古文・漢文の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
 B.論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者とのかかわりの中で伝える力を広げ育てる。
 C.言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度と生涯読書に親しみ文化を享受する態度を養う。

2 学習計画及び評価方法

学期	項目	単元	教材	主な学習内容	月	考查	評価の観点		
							A	B	C
前期	古文漢文	はじめに	なぜ古典を学ぶのか	・言葉の働きを理解する。 ・言語文化の特質について理解する。 ・日本の文化と外国の文化との関係について理解する。	4		○		
	古文	説話1	宇治拾遺物語「伴大納言のこと」	・説話の面白さに親しみ、平安期の人々の文化や考え方を理解する。 ・歴史的仮名遣いの読み方を確認し、動詞・助動詞の意味や用法を理解する。 ・説話文学に興味をもち、登場人物の言動から、物語の編者が教訓として伝えたかったのはどのような内容か話し合う。	4		○		
	漢文	故事・寓話1	世説新語「漱石枕流」 淮南子「塞翁馬」	・漢文を読むために必要なきまりについて理解する。 ・文章の構成や展開を的確に捉え内容理解を深める。 ・現代の言葉の成り立ちへの影響について理解を深める文章にまとめる。	5		○		
	古文	随筆1	方丈記「ゆく河の流れ」	・無常観について、当時の人々がなぜそのような思想を持つようになったのか理解する。 ・文章の内容を構成や対句、展開に即して的確にとらえる。 ・作品の内容を自分の知見と結び付け考えを広げ深めることができる。	6	中間	○	○	
	古文	随筆1	方丈記「養和の飢饉」	・作品に描かれた飢饉の状況を語釈を通して的確に理解する。 ・筆者が心打たれた出来事を理解し、自分の考えをまとめて、発表する。	7		○	○	
	漢文	史話・史伝1	十八史略「背水の陣」	・「十八史略」について理解し、描かれた心理、内容を解釈する。 ・漢字の意味句法を理解し、展開を理解する。 ・描かれた内容をまとめ、共有して話し合う。	7		○	○	
	古文	物語1	伊勢物語「初冠」「つひに行く道」	・歌物語とは何か理解し描かれた人間の真実の姿、生き方を読み取り、自らの考え方を豊かにする。 ・語句、文法、和歌修辞法に注意して内容を的確に理解する。 ・和歌に表現された思いを把握し、発表しようとしている。	9	期末	○		○
前期 授業評価									
後期	漢文	詩1	近体詩 「竹里館」「望廬山瀑布」「磻中作」 「香炉峰下、新朴山居…」「春夜」	・絶句や律詩に用いられている言葉の響きリズム修辞などの表現の特色について理解する。 ・描かれている心情や境遇などを考えながら漢詩を読み味わう。 ・的確な現代語訳をする。 ・詩の内容について話し合い、風景を描く。	10		○		
	古文	随筆2	枕草子「うつくしきもの」「中納言参り給ひて」	・作品の特徴について知識を整理し、内容を理解する。 ・「美」を表す言葉の変遷を調べ現代語との違いについて考える。 ・当時の宮廷が文学に果たした役割を理解し、まとめる。	11		○		
	古文	物語と日記	源氏物語「光源氏誕生」	・「源氏物語」についての知識を理解する。 ・平安時代の語彙・敬語表現を理解し、内容、展開を的確に理解する。 ・「長恨歌」との共通点や相違点について考察しまとめる。	12	中間	○	○	
	漢文	小説	枕中記	・小説とは何か、現代と中国古典の違いを踏まえてその特色を理解する。 ・発話や情景の描写に注意して小説を読みその内容の理解を深める。 ・「黄梁夢」と読み比べ、共通点や相違点をまとめる。	1		○	○	
	古文	詩歌	和歌 万葉集 古今和歌集 後撰和歌集 新古今和歌集 歌論「古今和歌集 仮名序」	・上代から通じて和歌の美の世界を味わう。 ・表現の特色や修辞法、それぞれの歌集の特徴を理解する。 ・本文の内容を読み取り和歌の本質と起源について理解しまとめる。	2	期末	○	○	○
後期 授業評価									

3 評価の観点

- 【知識・技能】知識を正しく獲得し、的確に運用することができるか。
 【思考・判断・表現】古典作品の中の心情、思想、展開を理解し、作品の読みを深め、表現しているか。
 【主体的に学習に取り組む態度】知識・技能の獲得、思考判断力表現力を粘り強く身に付けようとしているか。学習過程において自らの学習を
 るか
 (評価算出方法)
 【知識・技能】【思考・判断・表現】素点÷配点×100 定期試験
 【主体的に学習に取り組む態度】平常点10 授業の取り組み姿勢、テキストの音読、課題・プリントの提出、ノートの整理、振り返りシートなど